



令和8年7月1日現在
世帯数 2,910世帯
男 3,110人
女 3,266人
総人口 6,376人

島立小学校運動会

5月30日(土)、

五月晴れの澄み渡る空の下、島立小学校の運動会が盛大に行われました。心地よい初夏の陽気の中、校庭には子どもたちの元気な声と保護者・地域の皆さんの温かい声援が響き渡りました。



▲スローガン

子どもたちの元

体となつて盛り上がりました。

後半は、全校児童と保護者が参加する親子交流種目「大玉転がし」で幕を開けました。紅白に分かれ大きな玉を力合わせて運び、ゴールを目指す姿は、まさに世代を超えた協力の象徴となりました。続いて行われた各学年の団体競技や表現では、それぞれが趣向を凝らした内容で、練習を

本年度の運動会スローガン

は「挑戦！花ひらけ みんなの力」。競技や演技を通じて、一人ひとりが挑戦し、その力を仲間と合わせることで、色とりどりの花を咲かせるような輝きを見せてくれました。子どもたちの真剣な姿と達成感に満ちた笑顔は、まさにこのスローガンを体現するものとなり、会場には大きな感動が広がりました。

町会対抗

卓球・ソフトバレー大会

6月14日(日)、島立地区スポーツ協会主催による「町会対抗卓球大会及びソフトバレー大会」が島立体育館ならびに島立小学校体育館で開催されました。



た。競技を楽しみながら健康づくりにもつながり、地域の絆の大切さを改めて感じられる行事となりました。本大会は令和7年度島立地区のスポーツ活動の幕開けを飾るもので、開会式も行われました。

【成績】

卓球

優勝 北 栗
準優勝 荒 井
第3位 堀 米
南 栗

ソフトバレー

優勝 三の宮 A
準優勝 北 栗 B
第3位 北 栗 A
南 栗



【成績】

ゲートボール

優勝 北 栗
準優勝 堀 米
第3位 大 庭
永 田

マレットゴルフ

優勝 大 庭
準優勝 北 栗
第3位 北 栗

町会対抗

ゲートボール・マレットゴルフ大会

5/31日

この大会は、地域住民が一堂に会し、スポーツを通じて交流を深める貴重な機会になつており、参加者同士の親睦を一層深める場ともなっています。当日は幅広い世代が参加し、笑顔と歓声があふれる、活気ある一日となりました。

前半は、1・2年生によるかけっこ、3・4・5年生の短距離走、そして6年生の全員リレーが行われました。低学年の子どもたちは、全力でゴールを目指すかわいらしい姿を見せ、会場は自然と笑顔に包まれました。中・高学年の短距離走やリレーでは、白熱した接戦が続き、手に汗を握るような展開に、観客席からは大きな声援が送られました。特に6年生のリレーでは、仲間にはバトンをつなぐ真剣な表情が印象的で、会場全体が一



1年生団体種目 玉入れ



2年生表現 おしかつサイコウ
We are Shima-ARASHI



3年生団体種目
台風をかけぬけろ!



4年生表現 シルエットダンス



5・6年生表現 ひびきあい



全校・保護者 大玉転がし
(PTA親子交流)

しまだち千支展

5月14日(木) から5月17

日(日)までの4日間、梓川アカデミア館ギャラリーにおいて、島立町内公民館長会及び島立公民館主催による「しまだち千支展」が開催されました。

会場には、島立公民館でも親しまれている千支の墨絵13点をはじめ、島立小学校4年生による個性豊かな模様アト、島立出身者や関係者による絵画、さらには昭和54年当時撮影された各町会の記録写真などが展示され、多くの来場者が足を止め見入っていました。懐かしさと新しさが同居する展示内容により、地域の歴史や文化のつながりを感じられる機会となりました。

千支の墨絵を制作されているのは、小柴にお住いの勝野壽雄さんです。その作品は「しまだち公民館報」の1月30日号に毎年掲載され、多くの方に親しまれてきました。本年の午(うま)年の作品では、「馬」の文字を中心に、背景には

常念岳、そして松と

竹が描かれ、「躍動豊穡吉祥」との言葉とともに、躍動感あふれる千支の馬が表現されています。

この千支の墨絵は2014年から描き続けられており、本年から二巡目を迎えました。一つひとつの作品に込められた思いと歳月の積み重ねに、来場者からは感嘆の声が寄せられていました。今後どのような作品が生み出されるのか、引き続き大いに期待が寄せられています。



と島立

石井柏亭

昨年末、松本市美術館で、「石井柏亭展」が開催され、初めて鑑賞する機会がありました。柏亭は明治末から昭和期に活躍した近代日本美術を代表する画家です。戦時中、東京から松本に疎開し、その後も松本に留まった関係で、信州美術に大きな影響を与え、信州ゆかりの作品も多く描いています。特に、今回の展覧会では、前から観たかった、終戦直後に松本で描いたと言われる、『山河在』という作品を鑑賞することもできました。

この展覧会で驚いたことは、有名な画家である柏亭と島立には深い関わりがあったという事です。そのことを二つの絵画の展示資料から知ることができました。そして、そこには次のように説明が書かれていました。

『春の野』という作品には「島立村の邸宅の裏庭から見た光景を描いた作品で、美ヶ原を背景に、島立村の若い夫婦が農作業の合間に茶を飲む牧歌的な風景」、『村友小酌』という作品には「柏亭は松本の人達との交流も盛んで、特に親交の

信州ゆかりの作品



令和7年10月25日付 MGプレスから

深かった島立村の邸宅をたびたび訪れ、酒を酌み交わした」とありました。また、その絵

のモデルも島立の人が描かれていて、その中には生前会ったことがある人もいました。昨年度の館報島立版にも、柏亭と後に島立公民館長になった人との交流が載っていました。さらに今年度実施された島立公民館等による「千支展」でも、柏亭のことが島立との関わりから取り上げられて、展示されていました。このように柏亭は当時の島立の人達と交流があり、描いた絵画にもその様子が残っていて、柏亭と島立との深い関わりを作品や資料を通して知ることができるのです。

季節の写真



高原の牧場と牛



雨待つカエル



麦畑とラベンダー



堀米のキツネ